

令和2年度

編入学学生募集要項

- 文学部
- 公共政策学部
- 生命環境学部

京 都 府 立 大 学

目 次

◎ アドミッション・ポリシー	-----	1
◎ 文 学 部	-----	8
◎ 公 共 政 策 学 部	-----	12
◎ 生 命 環 境 学 部	-----	15
◎ 不正行為について	-----	20
◎ 悪天候・災害等の試験実施について	-----	20
◎ 令和3年度編入学の募集停止について（お知らせ）	-----	21
◎ 試 験 場 案 内		
◎ 添付書類		
○ 志望理由書		
○ 入学願書等〈A票～D票〉		
○ 出願用封筒		
○ 入試関係返信用封筒		

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【文学部】

教育の理念・目標

文学部は、人間の文化的・社会的営為に関する人類の叡智を継承し、ことばと文学、歴史と文化遺産、和食文化にかかわる専門領域を深く教育・研究するとともに、その成果を広く社会に還元します。さらに現代社会・地域社会が提起する諸課題にこたえるために、知の拠点として、つねに新たな教育・研究領域を開拓することを目指し、次のような人材の育成を目標とします。

1. 人文学のたゆまぬ研究と教育を通じて、幅広い教養を備えるとともに、豊かな人間性と高度な専門性を身に付けた人材を育成します。
2. 教養と専門知識を融合させ、総合的な視野や多様な価値観を養うことにより、地域文化・地域課題をにない、また、国際化社会にも貢献しうる人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

文学部では、次のような能力を修得している学生を求め、入学者選抜の方針を定めます。

【入学前に修得しているべき能力（知識・思考力、技能、意欲・関心・態度等）】

- 1 高等学校等で修得する十分な基礎学力
- 2 日本語および外国語を通じた異文化理解
- 3 知識や経験を総合し、課題の解決へと導く思考力
- 4 日本および世界の文化・歴史に対する正確な知識
- 5 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや他者との協働活動
- 7 志望分野に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

文学部では、こうした学生像や「文学部の教育の理念・目標」に適する能力を考査・選抜するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、推薦入試、編入学試験を実施します。各試験における審査の観点や判定方法等は、各学科において定めています。

【日本・中国文学科】

日本・中国文学科は、日本と中国の言語・文学について探究することを目的として、日本語学・日本文学・中国文学について、相互の関連を踏まえながら専門的な教育・研究を行い、各分野について深い知識を持ち、かつ三分野を関連づけて思考することのできる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

日本・中国文学科では、日本や中国の言語や文学に対して強い関心を持ち、同時に人間や社会に対して幅広く目を向け、自ら問題を発見し、解決しようとする意力を備え、また、文献の読解に取り組む粘り強さと、多角的な視点からものごとを見る柔軟さを持った学生を求めます。そのために必要な能力は以下のとおりです。

【入学前に修得しているべき能力（知識・思考力、技能、意欲・関心・態度等）】

- 1 高等学校での基礎的諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史、公民についての十分な学力
- 2 異文化理解に資する外国語・日本語の運用能力
- 3 日本や中国の文化を言語や文字などを通して考察できる能力
- 4 世界、特に日本・中国の文化・歴史に対する正確な知識
- 5 自らの問題意識を論理的・客観的に文章化して表現する能力
- 6 主体性を持って他者と協働する能力
- 7 日本語学・日本文学・中国文学に対する問題意識

【入学者選抜の方針】

日本・中国文学科は、こうした能力を持つ学生を考査・選抜するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な能力は大学入試センター試験（国語、外国語、地理歴史・公民）により、また、1～4の応用的な能力および5については記述式問題を重視した3教科（国語・外国語・歴史）の個別学力検査によるバランスのとれた学力を考査し、全体に国語の配点を高め、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせて入学者を選抜する。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力は大学入試センター試験（国語、地理歴史・公民、外国語）により、また、1～4の応用的な能力および5については記述式問題を重視した個別学力検査において国語により秀でた学力を考查し、全体に国語の配点を高め、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせる入学者を選抜する。

●推薦入試

上記1～4についての基本的な能力および6・7については推薦書・調査書により確認するとともに、1～4の応用的な能力および5については記述式問題により優れた学力を評価し、総合的に入学者を選抜する。

●編入学試験

上記1～4についての基本的な能力は調査書または成績証明書により、また、1～4の専門的な能力および5については筆記試験、6・7については志望理由書および面接により確認し、総合的に入学者を選抜する。

〔欧米言語文化学科〕

欧米言語文化学科は、多文化共生の時代に必要な異文化理解を深めることを目的として、欧米言語文化・英語学英語教育学・国際文化交流・日英翻訳文化の教育研究を行い、高度な外国語運用能力・柔軟な思考力・問題発見能力・自己表現力を備えた、広い国際的視野を持った人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

欧米言語文化学科では、広い視野と関心を持って、独自の視点から問題を探求し、客観的かつ多面的考察・分析をおこない、その成果を論理的な言葉で表現できる人材を育成します。入学選抜にあたっては、こうした欧米言語文化の研究方法に対する能力・適性を考查します。したがって本学科では、以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に修得しているべき能力（知識・思考力、技能、意欲・関心・態度等）】

- 1 教養の基礎となる高等学校等で履修する基本的な知識と理解力
- 2 日本語と外国語の優れた言語能力
- 3 言葉の力や人類が培ってきた様々な思想を理解するための共感能力、柔軟な思考力と問題把握能力
- 4 過去から現代に至る欧米と日本の文化・社会に強い関心を持ち、言葉の仕組み、機能を理解し、思考する能力
- 5 自ら見出した問題を論理的に考え、自分の言葉で表現する能力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや他者との協働活動への意欲
- 7 欧米言語文化に対する問題意識

【入学選抜の方針】

欧米言語文化学科は、こうした能力を持つ学生を考查・選抜するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせる一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4の基本的な知識および理解を考查する大学入試センター試験（国語、外国語、地理歴史・公民）と1～4の応用力と5について外国語ならびに国語の文章読解力や文章作成力、論理的な思考力、歴史に関する適切な理解を通じて適宜考查する個別学力検査（国語・外国語・歴史）を組み合わせる入学者を選抜する。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4の基本的な知識および理解を考查する大学入試センター試験（国語、外国語、地理歴史・公民）と1～4の応用力と5について欧米言語文化学科の求める高度な外国語理解力や外国語文章作成力、論理的な思考力を通じて適宜考查する個別学力検査（外国語）を組み合わせ、後者の配点をその他の科目よりも高くして入学者を選抜する。

●推薦入試

上記1～4の基本的な能力および6・7については推薦書・調査書により確認するとともに、1～4の応用力および5については記述式問題により考查し、総合的に入学者を選抜する。

●編入学試験

上記1～4についての基本的な能力は調査書および成績証明書により、また、1～4の応用力および5については筆記試験により、6・7については志望理由書により確認し、総合的に入学者を選抜する。

〔歴史学科〕

歴史学科は、人間の文化的・社会的営為について歴史と文化遺産に関わる専門的領域を考究することを目的として、日本を中心としてひろく世界についてその社会と文化、思想の歴史的展開に関する

教育研究を行い、人類の過去と現在、未来に対する洞察力、分析力をもつ人材、さらに歴史的遺産を理解しその継承に資する人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

歴史学科では歴史学に対する深く幅広い知見を備え、資史料を運用する能力、文化遺産を調査・保存・活用する能力を備えた人材を育成します。入学試験にあたっては、こうした歴史学の研究方法に対する能力・適性を考査し、入学者を選抜します。本学科では、そのために以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

【入学前に修得しているべき能力（知識・思考力、技能、意欲・関心・態度等）】

- 1 高等学校で修得する諸教科、とりわけ国語、外国語、地理歴史についての十分な基礎学力
- 2 自国の文化及び異文化に対する十分な理解
- 3 歴史研究の基礎となる資料や文献の読解に必要な思考力・解釈力・想像力
- 4 日本および世界の歴史に対する正確な知識
- 5 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 6 学校内外での主体的な取り組みや、他者と協働する協調性
- 7 歴史学に対する深い関心、文化遺産の調査・保存・活用に対する強い意欲

【入学者選抜の方針】

歴史学科では、こうした能力を考査するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1～4についての基本的な能力は、大学入試センター試験（国語、外国語、地理歴史・公民）によって評価する。また1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した3教科の個別学力試験（国語、外国語、歴史）により、評価する。

●一般選抜（後期日程）

上記1～4についての基本的な能力は、大学入試センター試験（国語、外国語、地理歴史・公民）により、評価する。また1～4の応用的な能力および5については、記述式問題を重視した個別学力試験（歴史）によって評価する。特に歴史1教科の個別学力試験を課すことにより、④に秀でた学生を選抜する。

●推薦入試

上記1～4についての基本的な能力および6・7については、推薦書・調査書によって確認するとともに、1～4の応用的な能力および5については、小論文などによって評価し、総合的に入学者を選抜する。

●編入学試験

上記1～4についての基本的な能力は、調査書または成績証明書によって評価する。また、1～4の専門的な能力および5については筆記試験、6・7については志望理由書および面接により確認し、総合的に入学者を選抜する。

【公共政策学部】

教育の理念・目標

公共政策学部は、生涯にわたる人間発達を多様に実現しうる社会（福祉社会）を、個人、NPO、地域コミュニティ、企業、行政などが協働して築くために、より高い政策立案能力や問題発見・解決能力を持った人材、地域における福祉や人間形成の担い手となる人材を育成します。

アドミッション・ポリシー

公共政策学部では、次のような能力を修得している学生を求め、入学者選抜の方針を定めます。

【入学前に修得しているべき能力等】

- 1 高等学校等で修得する十分な基礎学力
- 2 知識や経験を総合し、課題の解決へと導く思考力
- 3 自己の見解を的確に示す表現力や論述力
- 4 志望分野に対する問題意識
- 5 公共政策学科および福祉社会学科が求める能力

【入学者選抜の方針】

公共政策学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。各試験における審査の観点や判定方法等は、公共政策学科および福祉社会学科がそれぞれ具体的に定めることとします。

〔公共政策学科〕

公共政策学科は、福祉社会の創造を目的として、法学・政治学・経済学をはじめとする社会科学の諸分野から公共政策のあり方についての教育研究を行い、地域・自治体の政策立案及び管理運営に寄与しうる能力を有する人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

公共政策学科では、住民が心ゆたかに暮らせる地域づくりにとって必要かつ有用な法学、経済学、政治学の理論を修得し、地域社会が抱える問題を的確に把握するとともに、それを解決するための政策を立案する能力を養い、さまざまな個人、NPO、地域コミュニティ、企業、行政など多様な主体が協働して築き上げる「公共政策」のあり方を学びます。入学試験においては、こうした教育研究に適した能力・適性を有するかを考査し、入学者を選抜します。

【入学前に修得しているべき能力等】

- 1 高等学校等で履修する国語、地理歴史または公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識
- 2 日本語および外国語の文章読解力および文章作成力
- 3 現代社会の制度・政策に対する理解（または関心）。また、国や地域（社会）の発展のため、制度・政策の問題点を発見し、解決しようとする意欲
- 4 現代社会が求める幅広い思考力、柔軟な発想力および自分の言葉で表現できる能力
- 5 地域（社会）と積極的に関わり、修得した能力・知識を活用して地域（社会）に貢献するとともに、自己実現を目指す意欲

【入学者選抜の方針】

公共政策学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜（前期日程・後期日程）

▼大学入試センター試験：公共政策学が学際性を有しその研究には幅広い知識を要することから、大学入試センター試験では、高等学校等で履修する主要科目（国語、地理歴史または公民、理科、数学、外国語）について、文理の別なく、基本的な知識を有するかを考査します。

▼個別学力検査：前期日程では、英語と国語を課し、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を有するかを考査します。後期日程では、小論文を課し、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を基盤に、社会問題を解決するために必要な柔軟な発想力を有するか、また、自分の言葉で表現できる能力を有するかを判定します。

●推薦入試

推薦入試では、調査書によって、地域貢献および自己実現に求められる主体性および積極性を確認し、小論文において、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を基盤に、社会問題を解決するために必要な柔軟な発想力を有するか、自分の言葉で表現できる能力を有するか、さらに、実証研究に必要なデータ分析能力を有するかを判定します。また、推薦書によって、学科の教育研究で必要となる問題への関心および主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を備えているかを確認します。

●編入学試験

▼筆記試験：英語では、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を有するかを考査します。小論文・用語解説では、小論文において、文章読解力、論理的な思考力および文章作成力を基盤に、社会問題を解決するために必要な柔軟な発想力を有するか、また、自分の言葉で表現できる能力を有するかを判定し、用語解説において、編入学後に耐えうる専門的な基礎知識を有するかを判定します。

▼面接：面接では、筆記試験で判定する能力等を口頭で確認するとともに、志望理由書を踏まえ、地域貢献および自己実現に求められる主体性および積極性を確認します。

〔福祉社会学科〕

福祉社会学科は、福祉社会の創造を目的として、社会福祉学・社会学・教育学・心理学等の諸分野から教育研究を行い、地域の福祉と人びとの生涯発達に寄与しうる能力を有する人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

福祉社会学科では、社会福祉学・社会学・教育学・心理学などの専門分野の教育研究を通して、人々が直面するさまざまな生活問題や福祉ニーズに対応して、人々の生活を支援する政策・制度・方法と実践のあり方を学ぶ（社会福祉学群）とともに、人間の成長・発達や行動・相互作用、そして教育のあり方について科学的な理解を養います（人間形成学群）。入学試験においては、こうした教育研究に適した能力・適性を有するかを考査し、入学者を選抜します。

【入学前に修得しているべき能力等】

- 1 高等学校での基礎的諸教科（国語、数学、外国語、地理歴史・公民、理科）についての十分な学力を有している。
- 2 人間の福祉と社会連帯のあり方に実践的な関心を持ち、地域と社会の現実的問題を把握している。
- 3 人間の発達、行動、教育と社会形成の課題を理解し、その解明に強い関心を持っている。
- 4 これらの福祉・社会・教育・心理の問題を論理的に考え、自分自身の意見を持ち、それを整理して表現できる基礎的な学力を有している。

【入学者選抜の方針】

福祉社会学科では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜（前期日程・後期日程）

- ・前期日程・後期日程ともに大学入試センター試験の5教科（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の試験科目を通して、高等学校での基礎的諸教科の学力を十分に備えているかを判定する。
- ・福祉、社会連帯、地域、人間の発達・教育、社会形成といった多様な人々の関わる問題を考え抜く論理的な思考力・判断力、そしてそれらに対する自分の考えを表現する力を見るため、大学入試センター試験の地歴・公民の配点を他教科の2倍にし、前期日程個別学力試験では国語と英語を、後期日程の個別学力試験では小論文の試験を実施する。前期日程は基礎学力を重視するのに対して、後期日程では学科での学びに関連する多様な資料を理解した上で自分の考えを展開する論理的な思考力を重視する。

●推薦入試

高等学校における基礎的諸教科について優秀な成績を修めた受験生を対象として、福祉社会の実現に関する諸問題を扱った文章や数量データを読み解き、自分自身の答えを論理的に導き出し、まとめあげる力を調べる小論文の試験を実施し、学科の教育研究に適した能力を有するかどうかを判定する。また、推薦書・調査書を通して、学科の教育研究で必要となる福祉・地域・人間発達・教育の問題への関心および主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を備えているかを確認する。

●編入学試験

▼筆記試験：英語の試験では、英語の基礎的な知識の有無を判定すると同時に、福祉や公共政策の諸問題に関連する内容の英文を読み解くことで、論理的な思考力および文章作成能力を調べると同時に、学科の教育研究領域への関心を確認する。小論文・用語解説では、小論文において、学科での学びに必要な読解力、論理的な思考力、文章表現力を調べるとともに、福祉、地域、人間の発達・教育、社会形成等の問題への関心と理解の深さを調べる。また、用語解説では、入学後の学習に必要な専門分野の基礎知識を有しているかを判定する。

▼面接：面接では、志望理由書をベースに学科の教育研究領域への関心および多様な人々と協働して学ぶ態度を備えているかを確認する。

【生命環境学部】

教育の理念・目標

生命環境学部は、「生命」と「環境」に関わる諸領域の学術を学際的、総合的に考究することを目的として、人間の生活や産業などの諸活動と自然環境との共生を図るための知識と技術を身につけられるようにします。具体的には、

- 1 生命分子機能の応用
- 2 生物機能開発と食料生産の向上
- 3 食環境と健康の向上
- 4 自然環境と情報環境の向上
- 5 人間生活と住環境の向上
- 6 森林の保全と利用

に関わるそれぞれの領域で、第一線で活躍できる人材育成を目標としています。

アドミッション・ポリシー

生命環境学部では、生命や環境に関して深い関心を持ち、それらが関係する領域の第一線で活躍する意欲に溢れる次の資質を持つ人を求めています。

【入学前に修得しているべき能力】

- 1 高等学校等における各種学習内容を幅広く理解している。
- 2 生命と環境に関する基礎学問である自然科学系科目を論理的に理解している。
- 3 論理的な思考力や柔軟な発想力を持ち、自分の考えを的確に述べる基本的なコミュニケーション能力を身につけている。

【入学者選抜の方針】

本学部の入学試験では、一般選抜においては、大学入試センター試験において1について評価すると共に、特に前期日程において、個別学力検査を実施することで2について記述式問題の解答を通じて評価します。さらに推薦入試では、3に対する評価も実施して優れた人材を見出します。それぞれの入学試験における配点は、学科ごとに異なりますが、いずれもそれぞれの学科が求める基礎学力に応じたものとしています。編入学試験では、環境・情報科学科と環境デザイン学科が実施しており、それぞれの学科が求める基礎学力や意欲に応じる人材を見いだすための評価を行います。

〔環境・情報科学科〕

環境・情報科学科は、自然環境、情報環境の向上を目的として、生物学、化学、物理学、情報学、数学にわたる教育研究を行い、科学技術を生活の向上に生かすことができる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

理工系分野で世界に通用する専門家になるためには、まず好奇心と論理的思考力と表現力が必要です。各理系科目を暗記ではなく理解して、自分の言葉でその内容を語る能力があるかを重要視します。

【入学前に修得しているべき能力（知識・思考力、技能、意欲・関心・態度等）】

環境・情報科学科では、次のような資質を持つ人を求めています。

- 1 高等学校等において各種の学習内容を幅広く理解している。
- 2 思考力・判断力・表現力を兼ね備え、培われてきた学力を基に自分の考えを的確に記述できる。
- 3 普通科の生徒については、数学Ⅲと理科12単位以上を修得している。情報科学科の生徒については、数学は数Ⅲ関連科目を修得し、理科は理科関連科目（本来の理科学科の他に情報関連科目などを含める）を12単位以上修得している。工業高校の生徒については、数学は数学関連科目（本来の数学科目の他に、応用的な数学を主たる内容とした科目も含める）を13単位以上修得している。理科は理科関連科目（本来の理科学科の他に、応用的な理科を主たる内容とした科目も含める）を12単位以上修得している。
- 4 柔軟な発想のもとに思考し、豊かな創造性を身につけている。
- 5 社会に役立つ物質の創成、新しい技術の開発への夢を語れる。
- 6 先端科学技術を人々の生活の向上に生かそうという意欲をもつ。

【入学者選抜の方針】

環境・情報科学科では、こうした能力を考査するため、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜(前期日程)

上記1について、大学入試センター試験において、国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語を課す一方で、上記2について、個別試験の配点を高めに設定し、数学、理科を課し、記述式問題を重視する。

●推薦入試

上記3について、これを推薦条件に含め、上記1、2、4～6について、推薦書、調査書、テーマ作文、面接の総合判定を行う。

●編入学試験

一般選抜では、上記1、2、4～6について、調査書または成績証明書、英語および専門科目の筆記試験、面接の総合判定を行う。

推薦選抜では、上記1、2、4～6について、推薦書、調査書または成績証明書、小論文、面接の総合判定を行う。

〔環境デザイン学科〕

環境デザイン学科は、豊かな生活環境の実現を目的として、住居・建築学、生活デザイン・ランドスケープデザインについて教育研究を行うことにより、広い教養と総合的な判断力を持ち、人と環境に優しい生活環境と生活様式の創造ができる人材を養成します。

アドミッション・ポリシー

環境デザイン学科では、人と環境にとって望ましい住居、建築、都市、地域、暮らしのデザインについて、生活者の視点から科学的に追及し、総合化し提案する意欲のある人を求めています。

【入学前に修得しているべき能力（知識・思考力、技能、意欲・関心・態度等）】

環境デザイン学は、住居・建築学を基盤としつつ、循環型社会、ランドスケープ、プロダクト、生活美学などを包摂する幅広い専門領域にわたります。

そのために、環境デザイン学科では、つぎのような資質を持つ人を求めています。

- 1 高等学校での基礎的な諸教科（国語、数学、理科、外国語、地理歴史・公民など）についての十分な基礎学力
- 2 緻密な論理的思考力と判断力、社会に対する洞察力、デザインや造形に強い関心を持ち、表現し提案することへの熱意
- 3 生活環境がもつさまざまな側面を、技術的・文化的・社会的に把握するとともに、それが生み出されていくプロセスを理解し、実際にすぐれたモノや空間を構築したりデザインしたりするための基礎的素養と意欲

【入学者選抜の方針】

環境デザイン学科では、こうした能力を考查するため、大学入試センター試験と個別学力検査を組み合わせた一般選抜、推薦入試、編入学試験を実施します。

●一般選抜（前期日程）

上記1に関する基礎学力の高い人材を見出すため、大学入試センター試験において、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語を課し、個別学力検査において、外国語と理科を課す。

●一般選抜（後期日程）

上記1を確認するため、大学入試センター試験において、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語を課し、上記2、3に関する高い能力をもつ人材を見出すため、個別学力検査において美術実技を課す。

●推薦入試

上記1については推薦書・調査書・志望理由書で確認し、上記2、3に関する高い能力をもつ人材を見出すため小論文と面接を行う。

●編入学試験

上記2、3に関する基礎的な知識や能力の高さを確認するため、英語を課すことにより基礎学力の一端を確認し、上記2、3に関する豊富な知識と意欲・熱意を持つ人材を見出すため、専門科目と面接を課す。

文 学 部

[1] 編入年次および募集人員

学 科 名	編入年次	募 集 人 員
日本・中国文学科	3 年 次	3 名
欧米言語文化学科	3 年 次	3 名
歴 史 学 科	2 年 次	3 名

[2] 出願資格

次のいずれかに該当すること。

- 1 <日本・中国文学科、欧米言語文化学科>
大学（外国の大学を含む）において第2年次以上に在学する者、または2年以上在学したことがある者
<歴史学科>
大学（外国の大学を含む）において第2年次以上に在学する者、または1年以上在学したことがある者
- 2 大学、短期大学（外国の大学、短期大学を含む）または高等専門学校を卒業した者（令和2年3月卒業見込みを含む）および旧国立工業教員養成所または旧国立養護教諭養成所を卒業した者
- 3 学校教育法施行規則附則第7条に規定する学校の課程を修了し、またはこれらの学校を卒業した者

[3] 出願手続

1 出願書類

編入学を志願する者は、下記[5]提出先へ本学所定の封筒により郵送してください。

(1) 編入学願書等(所定の用紙による)

- ・編入学願書
- ・写真2枚を所定欄に貼付してください。
(願書および受験票に貼付。上半身・脱帽・正面、サイズが4cm×ヨコ3cm。出願日前3か月以内に撮影したもの)
- ・受験票（氏名等を記入。写真貼付）

(2) 調査書または成績証明書

既修得単位数が明記されたもの（出願日前3か月以内に学校長または学部長が作成し、厳封したもの）。

在学中の者は、令和2年3月までに単位修得見込みの科目について履修中であることがわかるものも必要。〈セメスター制等で後期分登録未済につき証明書提出不可の場合は、自己申告書（様式任意：登録予定内容明記）を添付してください。〉

(3) 最終学歴の卒業証明書

なお、出願資格1に該当する者は、当該大学の学長または学部長が作成した在学証明書または在学期間証明書を提出してください。

(4) 志望理由書 800字程度

(5) 返信用封筒（所定の封筒に、住所、氏名を記載し切手392円を貼ったもの）

2 入学考査料 17,000円

本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。（A票への金融機関押印により入金を確認します。）

(1) 京都銀行から振り込む場合、手数料は無料

(2) その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要

ただし、ゆうちょ銀行(郵便局)からは振込不可

金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行(郵便局)の普通為替証書を同封してください（普通為替証書発行には料金430円が必要）。普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。

● 入学願書受付後は、入学考査料をお返ししません。

ただし、二重に振り込んだ場合及び出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む）には、17,000円をお返ししますので、本学学生部学務課入試担当にお問い合わせください。

● 「京都工芸繊維大学と京都府立大学との間における編入学に関する覚書」に基づき、京都工芸繊維大学在学生の編入学試験出願に係る入学考査料は免除されます。

[4] 願書の受付期間

令和元年8月16日(金)～22日(木) 午後5時まで(本学に必着のこと)

ただし、期限後到着した場合は、8月21日(水)以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

[5] 提出先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学学生部学務課入試担当 TEL 075-703-5144 (直通)

[6] 選抜方法

試験科目および時間等

筆記試験、面接（欧米言語文化学科を除く。）および提出書類（調査書または成績証明書）の結果を総合して入学者を選抜します。

筆記試験

学 科 名	試 験 科 目	試験時間
日本・中国文学科	日本文学・日本語学・中国文学(3科目)	120分
欧米言語文化学科	英語またはドイツ語(あらかじめ1科目を選択)	120分
歴史学科	小論文(歴史に関するもの) 英語(辞書1冊持ち込み可。ただし、電子辞書は不可)	90分 60分

本学各学科が指定する選抜方法の科目（小論文、面接を含む）を1科目でも受験していない場合、失格となります。

[7] 試験場および日時

試験場 京都府立大学

試験実施日 令和元年9月13日(金)

学 科 名	試 験 時 間		
日本・中国文学科	10:00～12:00 日本文学・日本語学・中国文学		13:30～ 面 接
欧米言語文化学科	10:00～12:00 英語またはドイツ語		/
歴 史 学 科	9:00～10:30 小論文	11:00～12:00 英語	

[8] 合格発表

令和元年9月24日(火)正午に本学の掲示板に発表します。

本学ホームページ<http://www.kpu.ac.jp/>にも同じ内容を同日同時刻に掲載します。

なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

合格者に対する入学案内は、別途通知します。

合格電報の勧誘は京都府立大学と一切関係ありませんので、ご注意ください。

※合格発表後でも出願資格を欠いていることが判明した場合には、合格を取り消すことがあります。

[9] 入学手続

入学手続日程および提出書類については、合格通知とともにご連絡します。

[10] 学費等納付金(入学料・授業料等) ※金額は改定される場合があります。

種 類		金 額	備 考
入学料	京都府内額適用者	169,200円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。
	上記以外の者	282,000円	
授業料	前 期	267,900円	入学後、口座引き落としにより、前期(5月。次年度以降は4月)と後期(11月)の2回の分納となります。
	後 期	267,900円	
	計	535,800円	
学生教育研究災害傷害保険料		2,430円	歴史学科は3,620円 入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。

(注) 京都府内額適用者とは、平成31年4月1日以前から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票で証明可能な者をいう。

[11] 入学の時期

入学の時期は令和2年4月です。

[12] 修学年限等

＜日本・中国文学科、欧米言語文化学科＞

編入学後2年以上4年以内に所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した者については卒業資格を認定します。

＜歴史学科＞

編入学後3年以上6年以内に所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した者については卒業資格を認定します。

(注) 既修得科目および単位数により、上記の最低年限で卒業資格、その他資格(教員・学芸員)の取得が困難な場合があります。

[13] 単位認定

既修得単位の取扱いについては、本学部教授会が当該者について個別に定めます。

[14] 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

入学を志願する者で、身体等に障害(学校教育法施行令第22条の3に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験および修学上特別の配慮を必要とする場合は、令和元年7月12日(金)までに本学へ連絡し、相談すること。

[15] 注意事項

- 1 受験に際しては、本学編入学受験票を必ず持参してください。
受験票は入学手続き時に必要ですので、試験終了後も保管しておいてください。
- 2 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。
- 3 学力試験会場への携帯品等は、受験票・黒の鉛筆またはシャープペンシル(筆記機能のみ)・鉛筆削り(電動式を除く)・消しゴム・腕時計(計時機能のみ)に限ります。
●腕時計は、必ずアラーム設定を解除してください。
●携帯電話・スマートフォン等の通信機器類は、アラーム設定を解除し、電源を切っておいてください。
- 4 入学願書受付後は、志望学科の変更はできません。
また、提出書類はお返しいたしません。
- 5 郵便で入学願書等を請求するときは、「文学部編入学願書請求」と朱書き、あて先を明記して、返信料205円の郵便切手を貼った封筒角形2号(33.2cm×24.0cm)を同封の上、学生部学務課入試担当あて請求してください。

公 共 政 策 学 部

[1] 編入年次および募集人員

学 科 名	編入年次	募集人員
公 共 政 策 学 科	3 年 次	3 名
福 祉 社 会 学 科	3 年 次	3 名

[2] 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者とする。

- 1 修業年限4年以上の大学（外国の大学を含む）を卒業した者または令和2年3月31日までに卒業見込みの者
 - 2 短期大学（外国の短期大学を含む）または高等専門学校を卒業した者または令和2年3月31日までに卒業見込みの者
 - 3 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者または令和2年3月31日までに授与される見込みの者
 - 4 修業年限4年以上の大学（外国の大学を含む）または修業年限3年の短期大学（外国の短期大学を含む）に2年以上在学し（見込みを含む）、62単位以上を修得（見込みを含む）した者
- ※ 1、2または4の大学（短期大学）が外国の大学（短期大学）で出願する者のうち、外国の国籍を有し、外国において12年の学校教育を修了している者又は外国において学校における中等教育の課程を修了した者（12年未満の場合）で、文部科学省の指定する教育施設において我が国の大学に入学するための準備教育を修了した者については、日本留学試験（出題言語：日本語）の結果が、日本語220点以上、総合科目・数学（コース1またはコース2）の合計点240点以上である者

[3] 出 願 書 類 等

1 編入学願書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの。
2 卒業証明書 または卒業見 込証明書等	出願資格1または2の者は、卒業証明書または卒業見込み証明書。 出願資格3の者は、学位授与証明書。 改姓の場合は、証明する書類（複写可）を提出してください。
3 在学証明書	出願資格4の者は、在学する大学の学長（または学部長）が証明したもの。
4 成績証明書	既修得単位が明記されたもの（出願3ヶ月以内に学校長または学部長が作成し、厳封したもの）。在学中の者は、令和2年3月までに単位修得見込みの科目について履修中であることがわかるものも必要。〈セメスター制等で後期分登録未済につき証明書提出不可の場合は、自己申告書（様式任意：登録予定内容明記）を添付してください。〉
5 志望理由書	本学所定の用紙を用い、編入学をめざす動機や抱負及び現在の心境などを800字以内で記入してください。
6 写 真	出願前3か月以内に撮影した単身、脱帽、上半身、正面向きのもの（横3cm×縦4cm）を編入学願書・受験票に2枚貼り付けてください。
7 受 験 票	受験票は受付後郵送します（試験当日必ず持参してください）。
8 入学考査料	17,000円 本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。（A票への金融機関押印により入金を確認します。） (1) 京都銀行から振り込む場合、手数料は無料 (2) その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要 ただし、ゆうちょ銀行（郵便局）からは振込不可 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行（郵便局）の普通為替証書を同封してください（普通為替証書発行には料金430円が必要）。普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。 ●入学願書受付後は、入学考査料をお返ししません。 ただし、二重に振り込んだ場合及び出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む）には、17,000円をお返ししますので、本学学生部学務課入試担当にお問い合わせください。 ●「京都工芸繊維大学と京都府立大学との間における編入学に関する覚書」に基づき、京都工芸繊維大学在学生の編入学試験出願に係る入学考査料は免除されます。
9 返信用封筒	本学所定の封筒に住所、氏名を記載し、郵便切手（392円）を貼ったもの。

※出願資格の「※」に該当する者は上記1～9のほかに、履歴書（自筆・本学様式）、事前届書（本学様式）、日本留学試験成績通知書の写の提出が必要です。

[4] 願書の受付期間

令和元年8月16日(金)～8月22日(木) 午後5時まで(本学に必着のこと)
ただし、期限後到着した場合は、8月21日(水)以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

なお、[2]出願資格の※で出願しようとする者は、出願資格の事前審査が必要ですので、願書の出願に先立ち、令和元年7月17日(水)～7月24日(水)【午前9時～午後5時まで】の間に必要書類を添え、本学学務課入試担当に所定の書類を提出してください。

必要書類については、本学学務課入試担当にお尋ねください。

[5] 願書提出先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
京都府立大学学生部学務課入試担当 電話 (075)703-5144 (直通)

[6] 入学者選抜方法

選抜は、学力試験、面接の結果及び出願書類の内容を総合して行います。

1 学力試験

学力試験(筆記試験)は小論文・用語解説ならびに英語です。

英語については、英和辞典(電子辞書を除く。)1冊を持ち込むことができます。

2 面接

面接は、志望理由書の内容を中心に学習意欲や適性等に関して15分程度行います。

[7] 試験場および日時

1 試験場 京都府立大学

2 日時

月 日	試 験 時 間		
9月13日(金)	9:00～11:00 小論文・用語解説	12:30～14:00 英語	14:30～ 面接

本学各学科が指定する選抜方法の科目(小論文、面接を含む)を1科目でも受験していない場合、失格となります。

[8] 合格発表

令和元年9月24日(火)正午に本学の掲示板に発表します。

本学ホームページ<http://www.kpu.ac.jp/>にも同じ内容を同日同時刻に掲載します。

なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

合格者に対する入学案内は、別途通知します。

合格電報の勧誘は京都府立大学と一切関係ありませんので、ご注意ください。

※合格発表後でも出願資格を欠いていることが判明した場合には、合格を取り消すことがあります。

[9] 入学手続

入学手続日及び提出書類については、合格通知とともにご連絡します。

[10] 学費等納付金（入学料・授業料等） ※金額は改定される場合があります。

種 類		金 額	備 考
入学料	京都府内額適用者	169,200円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。
	上記以外の者	282,000円	
授業料	前 期	267,900円	入学後、口座引き落としにより、前期(5月。次年度以降は4月)と後期(10月)の2回の分納となります。
	後 期	267,900円	
	計	535,800円	
学生教育研究災害傷害保険料		2,430円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。

(注) 京都府内額適用者とは、平成31年4月1日以前から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票で証明可能な者をいう。

[11] 入学の時期

入学の時期は、令和2年4月です。

[12] 修学年限等

編入学後2年以上4年以内に所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した者については、卒業資格を認定します。なお、福祉社会学科に編入学した者で、精神保健福祉士国家試験の受験資格取得を希望する場合は4年かかります。

[13] 単位認定

既修得単位の取扱いについては、本学部教授会が当該者について個別に定めます。

[14] 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

入学を志願する者で、身体等に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度、その他これに準じるもの）があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、令和元年7月12日（金）までに本学へ連絡し、相談すること。

[15] 注意事項

- 1 受験に際しては、本学編入学受験票を必ず持参してください。
受験票は入学手続時に必要ですので試験終了後も保管しておいてください。
- 2 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。
- 3 学力試験会場への携帯品等は、受験票、黒の鉛筆またはシャープペンシル（筆記機能のみ）、鉛筆削り（電動式を除く）、消しゴム、時計（計時機能のみ）に限ります。
●腕時計は、必ずアラーム設定を解除してください。
●携帯電話・スマートフォン等の通信機器類は、アラーム設定を解除し、電源を切っておいてください。
- 4 入学願書受付後、提出書類はお返しいたしません。
- 5 郵便で入学願書等を請求するときは、「公共政策学部編入学願書請求」と朱書き、あて先を明記して、返信料205円の郵便切手を貼った封筒角形2号（33.2cm×24.0cm）を同封の上、学生部学務課入試担当あて請求してください。

生命環境学部

[1] 編入年次および募集人員

学科名	編入年次	募集人員
環境・情報科学科	3年次	編入学試験の推薦と合わせて 3名
環境デザイン学科	3年次	6名

[2] 出願資格

学科毎に、それぞれ次のいずれかに該当すること。

1 環境・情報科学科

- (1) 大学、短期大学または高等専門学校を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 令和2年3月末の時点において大学に2年以上在学し、62単位以上修得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年数が2年以上でかつ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上あること）の修了者および令和2年3月修了見込みの者。
ただし、高等学校を卒業した者、その他本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者に限る。
- (4) (1) または (2) の大学（短期大学）が外国の大学（短期大学）で出願する者のうち、外国の国籍を有し、外国において12年の学校教育を修了している者または外国において学校における中等教育の課程を修了した者（12年未満の場合）で、文部科学省の指定する教育施設において我が国の大学に入学するための準備教育を修了した者については、日本留学試験（出題言語：日本語）の結果が、日本語200点以上、かつ、理科・数学の合計点200点以上、かつ、英語についてはTOEFL500点（PBT）以上または61点（iBT）以上である者
- (5) 推薦入学出願資格については、高等専門学校を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者で、学業成績が上位に属し、出身学校長が責任をもって推薦できる者

2 環境デザイン学科

- (1) 大学、短期大学または高等専門学校を卒業した者および令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 令和2年3月末の時点において大学に2年以上在学し、62単位以上修得見込みの者
※ ただし、上記（1）または（2）を満たす者のうち、外国の国籍を有し、外国において12年の学校教育を修了している者又は外国において学校における中等教育の課程を修了した者（12年未満の場合）で、文部科学省の指定する教育施設において我が国の大学に入学するための準備教育を修了した者については、日本留学試験（出題言語：日本語）の結果が、日本語200点以上、かつ、理科100点以上、かつ、数学100点以上であり、かつ、英語についてはTOEFL450点（PBT）以上又は46点（iBT）以上である者に限定する。

[3] 出願資格審査

1 環境・情報科学科

[2]出願資格1の（4）に該当する場合は事前に出願資格を確認するもので、次のとおり出願資格審査の申請を行ってください。

(1) 提出書類

履歴書（自筆・本学書式）、事前届書（本学書式）、日本留学試験成績通知書の

写、TOEFL試験の成績通知書の写。必要書類については、本学学務課入試担当にお尋ねください。

- (2) 提出先
京都府立大学学生部学務課入試担当
- (3) 申請期間
令和元年7月17日(水)～7月24日(水)〔午前9時～午後5時まで〕
- (4) 結果通知
出願資格審査の結果は、出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

2 環境デザイン学科

[2]出願資格2の※ただし書きに該当する者は、事前に出願資格を確認するもので、次のとおり出願資格審査の申請を行ってください。

- (1) 提出書類
履歴書(自筆・本学書式)、事前届書(本学書式)、日本留学試験成績通知書の写、TOEFL試験の成績通知書の写、成績証明書(日本語または英語に限る)、修学科目の内容のわかるもの。必要書類については、本学学務課入試担当にお尋ねください。
- (2) 提出先
京都府立大学学生部学務課入試担当
- (3) 申請期間
令和元年7月17日(水)～7月24日(水)〔午前9時～午後5時まで〕
- (4) 結果通知
出願資格審査の結果は、出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

[4] 出願手続

1 出願書類

編入学を志願する者は、次の書類を下記[6]提出先に本学所定の封筒により郵送してください。

- (1) 編入学願書等(所定の用紙による)
 - ・編入学願書
 - ・写真2枚を所定欄に貼付してください。
(願書および受験票に貼付。上半身・脱帽・正面、サイズ毎4cm×3cm。出願日前3か月以内に撮影したもの)
 - ・受験票(氏名等を記入。写真貼付)
- (2) 調査書または成績証明書(出願資格審査で提出した場合は不要)
既修得単位数が明記されたもの(出願日前3か月以内に学校長または学部長が作成し、厳封したもの)。
在学中の者は、令和2年3月までに単位修得見込みの科目について履修中であることがわかるものも必要。(セメスター制等で後期分登録未済につき証明書提出不可の場合は、自己申告書(様式任意:登録予定内容明記)を添付してください。)
- (3) 最終学歴の卒業証明書
なお、[2]出願資格1の(2)または2の(2)に該当する者は、当該大学の学長または学部長が作成した在学証明書または在学期間証明書を、出願資格1の(3)に該当する者は、当該専修学校の専門課程修了証明書(見込みを含む。)および高等学校卒業証明書、その他本学入学資格を有することを証明するものを提出してください。
- (4) 志望理由書(所定の用紙による)
 - 〈環境・情報科学科〉 1200字程度
※志望理由書に、志望する主専攻を明記してください。
 - 〈環境デザイン学科〉 800字以内
- (5) 返信用封筒(所定の封筒に、住所、氏名を記載し郵便切手392円を貼ったもの)
- (6) 出身学校長からの推薦書(推薦選抜のみ)
- (7) 出願資格2の(3)に該当する者は、当該専修学校が作成した、修業年限2年以上

かつ総授業時間数が1,700時間以上であることの証明書

2 入学考査料 17,000円

本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。(A票への金融機関押印により入金を確認します。)

- (1) 京都銀行から振り込む場合、手数料は無料
- (2) その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要

ただし、ゆうちょ銀行(郵便局)からは振込不可

金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行(郵便局)の普通為替証書を同封してください(普通為替証書発行には料金430円が必要)。普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。

●入学願書受付後は、入学考査料をお返ししません。

ただし、二重に振り込んだ場合および出願書類を提出しなかった場合(出願が受理されなかった場合を含む)には、17,000円をお返ししますので、本学学生部学務課入試担当にお問い合わせください。

- 「京都工芸繊維大学と京都府立大学との間における編入学に関する覚書」に基づき、京都工芸繊維大学在学生の編入学試験出願に係る入学考査料は免除されます。

[5] 願書の受付期間

令和元年8月16日(金)～8月22日(木) 午後5時まで(本学に必着のこと)

ただし、期限後到着した場合は、8月21日(水)以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

[6] 提出先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

京都府立大学 学生部学務課入試担当 TEL 075-703-5144 (直通)

[7] 選抜方法

1 一般選抜学力試験の選抜方法

筆記試験、面接および提出書類(調査書または成績証明書)の結果を総合して入学者を選抜します。

2 推薦入学の選抜方法(環境・情報科学科のみ)

入学者の選抜は、出身学校長からの推薦書、調査書(または学業成績証明書)、面接および小論文の結果を総合して判定します。

3 試験科目および時間等

筆記試験等

学 科 名	選抜方法	試験科目	試験時間
環境・情報 科学科	一般選抜 学力試験	英 語	90分
		専門科目 ^{注1)}	90分
		面 接	筆記試験終了後
	推 薦	小 論 文	90分
		面 接	筆記試験終了後
環 境 デ ザ イン 学 科		英 語	90分
		専門科目 ^{注2)}	90分
		面 接	筆記試験終了後

本学各学科が指定する選抜方法の科目(小論文、面接を含む)を1科目でも受験していない場合、失格となります。

注1) 数学、物理学、生物学、化学、情報科学から1科目を選択して解答すること。ただし、希望する主専攻が指定する科目から選択すること。

情報環境学主専攻：情報科学 応用数学主専攻：数学 応用生物学主専攻：生物学
 材料設計学主専攻：化学 環境計測学主専攻：物理学

注2) 必須科目(①計画、②環境・設備、③構造・材料)のすべてに解答すること。

各科目の参考書は、次のとおり指定されている。問題は指定参考書の出題範囲から出題される。

【指定参考書】

- ①計画 岡田光正 他：現代建築学 建築計画1〔新訂〕、鹿島出版会、2016
 出題範囲：全章
 中根芳一編著：私たちの住居学(第2版) サステイナブル社会の住まいと暮らし、
 オーム社、2019
 出題範囲：全章
- ②環境・設備 田中俊六 他：「最新 建築環境工学」(改訂4版)、井上書院
 出題範囲：1章、2章、5章、6章(但し6-5非定常伝熱の計算法は除く)
- ③構造・材料 藤谷義信・西村光正他、建築構造力学講義(改訂版)、培風館
 出題範囲：1章～3章

[8] 試験場および日時

試験場 京都府立大学

試験実施日 令和元年9月13日(金)

学科名	選抜方法	試験時間		
環境・情報 科学科	一般選抜 学力試験	9:00～10:30 専門科目	11:00～12:30 英語	14:30～ 面接
	推薦		11:00～12:30 小論文	14:30～ 面接
環境デザイン学科		9:00～10:30 専門科目	11:00～12:30 英語	14:30～ 面接

[9] 合格発表

令和元年9月24日(火)正午に本学の掲示板に発表します。

本学ホームページ<http://www.kpu.ac.jp/>にも同じ内容を同日同時刻に掲載します。

なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

合格者に対する入学案内は、別途通知します。

合格電報の勧誘は京都府立大学と一切関係ありませんので、ご注意ください。

※合格発表後でも出願資格を欠いていることが判明した場合には、合格を取り消すことがあります。

[10] 入学手続

入学手続日程および提出書類については、合格通知とともにご連絡します。

[11] 学費等納付金(入学料・授業料等) ※金額は改定される場合があります。

種類		金額	備考
入学料	京都府内額適用者	169,200円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。
	上記以外の者	282,000円	
授業料	前期	267,900円	入学後、口座引き落としにより、前期(5月。次年度以降は4月)と後期(10月)の2回の分納となります。
	後期	267,900円	
	計	535,800円	
学生教育研究災害傷害保険料		2,430円	入学手続までに、所定の振込用紙にて振り込んでください。

(注) 京都府内額適用者とは、平成31年4月1日以前から引き続き京都府内に生活の本拠を置き、現に居住しており、住民票で証明可能な者をいう。

[12] 入学の時期

入学の時期は令和2年4月です。

[13] 修学年限等

編入学後2年以上4年以内に所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した者については卒業資格を認定します。

[14] 単位認定

既修得単位の取扱いについては、本学部教授会が当該者について個別に定めます。

編入学後、出身学校における単位の修得状況によっては、認定し得る単位が限定される場合があります。

このような場合には、3年次に編入学しても、2年間で卒業できないことがあります。

[15] 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

入学を志願する者で、身体等に障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度、その他これに準じるもの）があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、令和元年7月12日（金）までに本学へ連絡し、相談すること。

[16] 注意事項

- 1 受験に際しては、**本学編入学受験票を必ず持参**してください。
受験票は**入学手続き時に必要**ですので試験終了後も保管しておいてください。
- 2 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。
- 3 学力試験会場への携帯品等は、受験票・黒の鉛筆またはシャープペンシル（筆記機能のみ）・鉛筆削り（電動式を除く）・消しゴム・腕時計（計時機能のみ）に限ります。
●腕時計は、**必ずアラーム設定を解除**してください。
●携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は、**アラーム設定を解除し、電源を切**っておいてください。
- 4 入学願書受付後は、志望学科の変更はできません。なお、入学願書受付後は、志望する主専攻の変更はできません。
また、提出書類の返却はいたしません。
- 5 郵便で入学願書等を請求するときは、「生命環境学部環境・情報科学科編入学願書請求」と朱書し、あて先を明記して、返信料205円の郵便切手を貼った封筒角形2号（33.2cm×24.0cm）を同封の上、学生部学務課入試担当あて請求してください。
- 6 推薦選抜での合格者は、特別の理由がない限り入学を辞退することができません。

[17] その他

環境・情報科学科では副専攻認定制度を設けています。副専攻認定制度とは、卒業に必要な専門教育科目の修得において、体系的に用意された科目を修得することにより、卒業時に学士の学位取得に加えて、副専攻を修了したことを学位記等に記載し、認定する制度です。認定される副専攻は、情報環境学、応用数学、応用生物学、材料設計学、環境計測学、環境科学基礎の6つの専攻からなり、所属する主専攻と同一名の副専攻を除く5つの副専攻から1つ以上選択できます。

不正行為について

- 1 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできません。また、既に受験したすべての教科・科目の成績も無効となります。

- ① カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ② 使用の認められたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。
- ③ 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- ④ 照合票（編入学は願書）に本人以外の写真を貼ること。
- ⑤ 本人に代わって受験し、又は、受験させること。
- ⑥ 試験時間中に答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
- ⑦ 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末や電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

- 2 上記1以外に次のことをすると不正行為になることがあります。指示に従わず、不正行為となった場合の取扱いは、1と同様です。

- ① 試験時間中に携帯電話等や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- ② 自身を利するような虚偽の申し出をすること。
- ③ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ④ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑤ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

悪天候・災害等の試験実施について

悪天候や災害等で入学試験の実施が危惧される場合は、試験時刻の繰り下げ等の措置内容を、試験当日、試験開始時刻1時間前に本学ホームページ（<http://www.kpu.ac.jp/>）に掲載します。

（予定どおり実施する場合は、特に掲載しません。）

令和3年度編入学の募集停止について(お知らせ)

令和3年4月からの編入学については、募集を停止します。(令和2年度の編入学試験は実施しません。)

〈対象となる学部・学科〉

文学部	日本・中国文学科、欧米言語文化学科、歴史学科
公共政策学部	公共政策学科、福祉社会学科
生命環境学部	環境・情報科学科、環境デザイン学科

【お問い合わせ先】

京都府立大学学生部学務課入試担当

〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

電話 (075) 703-5144

試験場案内

- 入学試験会場
- 所在地
- 交通機関

京都府立大学

京都市左京区下鴨半木町 1—5

- ①② JR 京都駅・
阪急烏丸駅から
地下鉄烏丸線 「北山」 駅下車 1 番出口から南へ徒歩 10 分
- ③ 京阪出町柳駅から
市バス 1 系統「府立大学前」下車 北へ徒歩 5 分
京都バス 32、34、35 系統「府立大学前」下車 北へ徒歩 5 分
- ④ JR 二条駅から
市バス 206 系統「府立大学前」下車 北へ徒歩 5 分
地下鉄東西線「烏丸御池」駅下車乗換、烏丸線「北山」駅下車 1 番出口から南へ徒歩 10 分

(注意)

- ・ 合格電報の勧誘は、京都府立大学と一切関係ありませんので、ご注意ください。
- ・ 下鴨中通の正門から入場してください(試験室への案内を掲示)。
- ・ 試験場内への二輪車(自転車・バイク)、自動車等の車両の乗り入れはできません。
- ・ 昼食は各自持参してください。



お問い合わせ先

京都府立大学学生部学務課入試担当

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5

電話（075）703-5144（直通）